

日産厚生会玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名（研究番号） 原発性自然気胸における術後再発時の治療方針の検討
(No.)

当院の実施責任者 坪島顕司（気胸研究センター）
(所属)

他の研究機関および
各施設の研究責任者（所属） なし

本研究の目的

原発性自然気胸（PSP）は若い男性に多く発症し、日常生活のなかで突然肺が破裂してしまう疾患です。再発を繰り返すことが多く肺のしぼみ具合や息苦しさなどの症状によって、安静で自然に治癒することを目指す場合や胸腔ドレナージ（胸の中に管を入れて貯まった空気を抜く治療）や手術を行うことがあります。診療する機会の多い疾患であり、どのような方に手術や胸腔ドレナージを行うのかは多くの医療機関でほぼ統一された基準があります。例えば2回再発した場合、3回目の再発率は約70%と大変高率であるため、このように再発を繰り返す場合は一般的に手術をお勧めしています。手術ではPSPの原因である肺の表面にできた嚢胞（ブラ）を切除することが多く、更に何らかの補強方法を行うことで再発率を大きく減らすことができます（年齢などの条件で異なりますが当院実績では手術して1年後の再発率が2-10%）。一方で、手術を行っても再発した方の治療方針は、その対象が比較的少ないことに加えて各医療機関で手術方法（特に補強の方法）が異なるため、定まったものではありません。そこで当院で手術を行っても再発してしまった方々の特徴をカルテ情報から調査し、治療方針の確立に役立てたいと考えています。

本研究を学会、論文発表することで、PSPの手術を行っても残念ながら再発した場合の治療方針を確立することが期待できます。

調査期間 倫理委員会承認日から2026年12月31日まで

研究の方法
(使用する試料等)

●対象となる患者さま

2015年1月から2024年6月までに当院でPSPに対して1回目の胸腔鏡下手術を受けた方のうち、再発した方を対象とします。治療実績から約70名の方が対象になる見込みです。

●利用する情報

カルテに記載のある年齢、性別、1回目の手術の方法、再発時期、再発回数、再発後の治療方法（安静、胸腔ドレナージ、再手術）とその結果などの診療記録、検査データを利用します。

●利用又は提供を開始する予定日

倫理委員会承認日から

試料/情報の他の研究機関への

なし

提供および提供方法

個人情報の取り扱い

利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除し解析を行います。また、研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究のために収集したデータは、研究終了後5年間保管し、その後はすみやかに消去します。

本研究の資金源
(利益相反)

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません

お問い合わせ先

電話：03-3700-1151（代表）

担当者：坪島顕司

備考